

# 平成 30 年度 事業計画書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## I. 事業方針

---

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

## II. 事業内容

---

### 1. 競技会

#### 1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を15大会開催する。

#### 2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。（約500大会予定）

#### 3) 主要競技会日程

主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長、セーフティオフィサー、レースアドバイザー、テクニカルアドバイザー等を派遣する。

#### (1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
6月1日～3日	国際選手権	F I Mアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
7月26日～29日	世界耐久選手権	コカ-Cola鈴鹿8時間耐久レース 41回記念大会	鈴鹿サーキット
10月19日～21日	世界選手権	M o t o G P日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全9戦） 全大会MFJと共催/スポーツ庁後援/観光庁後援

日程		会場	開催クラス（◎は2レース制）				併催 MFJ カップ
			JSB	GP2	ST600	GP3	JP250
4月 7- 8日	第1戦	もてぎ	◎	○	○	○	○
4月 21-22日	第2戦	鈴鹿 2&4	◎				
5月 12-13日	第3戦	オートポリス 2 & 4	○				○
6月 16-17日	第4戦	SUGO	◎	○	○	○	○
6月 30-7月 1日	第5戦	筑波		◎	◎	◎	◎
8月 18-19日	第6戦	もてぎ 2 & 4	○				
9月 1-2日	第7戦	オートポリス	◎	○	◎	○	
9月 29-30日	第8戦	岡山国際	○	○	○	○	○
11月 3-4日	第9戦	鈴鹿 MFJ - GP	◎	○	○	○	○

- JSB クラス年間チャンピオンには『文部科学大臣杯』を授与。
- 若手育成の為 GP-3 クラスに地方選手権若手の優秀者が全日本に挑戦できる特別枠を設定。
- GP-2 優秀者が日本 GPMoto2 ワイルドカード出場の場合の支援。
- 最終戦MFJ - GP は 50 回記念大会

(2) モトクロス

① 全日本選手権（全9戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月 7-8日	HSR 九州	第6戦 東北	7月 21-22日	藤沢スポーツランド
第2戦 関東	4月 21-22日	オートポリス	第7戦 中国	8月 25-26日	グリーンパーク弘楽園
第3戦 SUGO	5月 12-13日	スポーツランド SUGO	第8戦 近畿	9月 8-9日	名阪スポーツランド
第4戦 中国	5月 26-27日	グリーンパーク弘楽園	第9戦 MFJGP	10月 27-28日	スポーツランド SUGO
第5戦 九州	6月 9-10日	HSR 九州			

※ 最終戦MFJ - GP はMFJ 共催/スポーツ庁後援/観光庁後援

② モトクロス全国大会（スポーツ庁後援・観光庁後援）

シニア・国内 A/B 級の全国選抜大会を東北地区（SUGO）にて 8 月 5 日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル MFJ 共催・スポーツ庁後援・観光庁後援

6 月 2 日/3 日 世界選手権日本グランプリ 会場：ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全7戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦 関東	3月 11日	真壁トライアルパーク	第5戦 中国	9月 2日	灰塚ダムトライアルパーク
第2戦 近畿	4月 15日	湯浅トライアルパーク	第6戦 中部	10月 7日	トヨタモーターランド
第3戦 九州	5月 13日	玖珠トライアルヒルズ	第7戦 東北	10月 21日	スポーツランド SUGO
第4戦 北海道	7月 15日	わっさむサーキット			

③ トライアルランドチャンピオン大会

国内 A 級以下の全国大会を 11 月 11 日 四国・かりんの丘トライアルランドにて開催

#### (4) その他の競技

##### ①全日本スノーモビル選手権 (全5戦)

※開催は2018年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	2月4日	長野(黒姫)	第4戦	2月25日	北海道(美瑛)
第2戦	2月11日	北海道(真狩)	第5戦	3月4日	青森(外ヶ浜)
第3戦	2月18日	北海道(土別)			

##### ②全日本スーパーモト選手権 (全8戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月15日	茂原(千葉)	第5戦	8月19日	SUGO(宮城)
第2戦	5月20日	弘楽園(広島)	第6戦	9月16日	名阪(奈良)
第3戦	6月10日	It`s(福島)	第7戦	10月14日	美浜(愛知)
第4戦	7月8日	HSR九州(熊本)	第8戦	11月11日	茂原(千葉)

##### ③全日本インデューロ選手権 (全4戦)

	日程	会場
第1戦 中国	4月15日	テージャスランチ(広島)
第2戦 中日本	5月26～27日	コスモスポーツランド(富山)
第3戦 北海道	9月15～16日	日高(北海道)
第4戦 東北	11月24～25日	スノーランド SUGO(宮城)

## 2. 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成30年12月15日(土) 場所：東京・日経ホール ※予定

## 3. 普及活動

### 1) MFJロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。期間：2018年4月～9月 年間10日間

年間参加(18歳以下) 使用車両：CBR250R/CBR150R 参加：17名

### 2) MFJレディス・ジュニアトライアルプログラム2018

今期より従来のトライアルアカデミー(通年)から全国展開するスクール(6回)に変更する。対象を女性と年少者を中心とし新規加入者増に期待する。

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：関東(白井トライアル場) 近畿(亀岡トライアル場)

1回の募集定員：12名 主任講師：西村 亜弥

期間：①7月8日(白井) ②7月28日・29日(亀岡) ③8月26日(亀岡)

④10月27日・28日(白井)

### 3) 親子バイク祭り

- ① 3月23日(金)～25日(日) 東京モーターサイクルショーにて体験試乗会
- ② 4月22日(日) モーターファンフェスタ FISCO
- ③ 7月1日(日) 全日本ロードレース筑波大会にて体験試乗会

※ポケバイ・ミニバイクレースには賞品協賛等で連携

### 4) 東北復興応援ツーリング 2018 (F I M公認)

期 間：2018年8月1日～31日予定。(詳細企画中)

対象地域：津波被害のあった東北沿岸部

- ①8月4日(土)バイククラブフォーラム岩手(一ノ関)と連携しキックオフイベント実施
- ②8月11日(土) スポーツランド SUGO
- ③8月26日(日) 大船渡

●後援：観光庁・復興庁、福島県・宮城県・岩手県・青森県、日本自動車工業会、  
日本二輪車普及安全協会、全国オートバイ協同組合連合会、全国二輪車用品連合会 等予定

### 5) ジムカーナ競技会

ジムカーナ統轄団体(J A G E)と共催でジムカーナ競技を承認競技として試験開催

- ①開催日：2018年4月29日(日) 場所：ツインリンクもてぎ マルチコース
- ②開催日：2018年11月18日(日) 場所：岡山国際サーキット ミニコース

※将来的なMFJ種目化の可能性を検証する。

## 4. 代表選手派遣・認定

### 1) 代表選手派遣

- ① アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。<日程未定>  
予定開催国：インド、タイ、台湾、マカオ(中国)
- ② 国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
  - ・ モトクロス・オブ・ネーションズ 10月7日 U S A
  - ・ トライアル・デ・ナシオン 9月22日 チェコ
  - ・ I S D E 11月17日 チリ

## 5. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会・各種目委員会にて以下課題に取り組む

- 1) ロードレースコース規定の改定並びに新規定に基づき所定の競技施設の査察実施
- 2) 規定に基づく装備品(ヘルメット/レーシングスーツ)の公認
- 3) 装備の基準検討(プロテクションの規格)
- 4) 装備の推奨(マウスガード推奨、エアバッグ式プロテクション義務化の検討)
- 5) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進(全種目も取り組む)

- 6) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートをレース時に必携させ医療機関搬送の際に渡せるよう用意することを義務付ける。
- 7) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備、各加盟団体へ AED 配備指示。
- 8) 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討
- 9) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。(随時)
- 10) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。(マニュアルに基づきネット・コーステープ・立ち入り禁止表示等強化)
- 11) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 12) 全日本選手権の運営平準化の為、各主催者の主要競技役員を集めシーズン前にセミナーを開催する。(ロードレース・モトクロス)
- 13) ドーピングコントロールの実施  
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各 1 回検査を実施する。  
※スポーツ振興基金助成事業
- 14) 全日本選手権のシリーズを通して一貫した判定と安全指導の為セーフティオフィサー 2 名を全戦に派遣する。(ロードレース・モトクロス) ※モトクロスの名称はレースアドバイザー  
●全日本モトクロスはレースアドバイザーの補助機能として動画撮影
- 15) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

## 6. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟(以下 FIM という)、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。(環境、トライアル、ロードレース、車検長)
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) その他国際交流の促進

## 7. 補助金事業

### 1) (公財) J K A オートレース

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| (1) 国内競技規則書(12月発行平成31年版) | 交付申請額: 7,897,000 円 |
|                          | 交付内定額: 2,970,000 円 |
| (2) 2018MFJ 東北復興応援ツーリング  | 交付申請額: 4,172,000 円 |
|                          | 審査の結果採用されず。        |

### 2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

平成 30 年度ドーピングコントロール

交付申請額：3,776,000 円

交付内定額：3,775,000 円

## 8. 情報発信活動

### 1) 広報活動

会員、メディア・販売店・一般への情報を内容に応じて下記媒体を活用し発信する。

- ①ホームページを主体とし、加えて会員へメールでダイレクトに情報配信
- ②全日本ロード/モトクロスは専用 HP を活用、エンデューロ、スーパーモトは外部 HP とリンク
- ③モーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を小冊子等の手段で行う。
- ④後半戦の主要競技会の見どころを中心にライディングリミテッド（フリーペーパー）を作成（7 月発行）加盟団体・施設・用品量販店等に配布
- ⑤広報部会活動
  - ・ 専門誌/一般メディアを対象にメールマガジンを発信し露出の拡大を図る
  - ・ 記者発表会等の開催
  - ・ メディア懇談会を開催し連携を図り、意見を頂き、告知協力を依頼する。
  - ・ 女性のモーターサイクルスポーツ参画応援サイト（Moto Ladies）継続
- ⑥国内競技規則書の発行（年間 1 回）※ J K A 補助金事業

### 2) プロモーション・マーケティング事業

以下項目について（有）クライムと業務委託契約を結び活動を実施する。

#### (1) プロモーション事業

- ① 映像製作/露出（GMP 社）
  - ・ 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録し BS12 にてダイジェスト放映（毎月末金曜 21:30～22:00）
  - ・ Web 動画配信「Web ロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロードのライブ動画配信（配信後アーカイブ）※収録カメラ 5 台 + 監視カメラ映像
  - ・ 無料インターネット TV（Abema Fresh TV）にて放映（スマホ視聴可）
  - ・ アジア向けに日本文化やスポーツを紹介する「Waku Waku Japan」にてアジア 7 개국で放映予定
  - ・ 無料動画サイト「GYAO!」にて配信（約 1 か月後）以後アーカイブ
- ② BS11 での告知  
BS11 のオートバイ番組「モトライズ」内で 2 分間のイベント告知コーナーを設け全日本トライアルの映像とともに全日本ロードレース・モトクロスの開催告知を行う（7 回）。毎週金曜 22:30～23:00
- ③ オフィシャルホームページ等広報（YUP 社）
  - ・ オフィシャルホームページ「Superbike.jp」にて情報発信
  - ・ メールマガ配信・写真等素材提供
  - ・ 東京モーターサイクルショーでの PR 活動
  - ・ シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作
- ④ ファンクラブの運営（ライディングハート社）

#### (2) M F J 会員へのメリット供与

- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供

- バイクプロス（バイク用品ネット通販）、キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide
- (3) クライムは受託事業を推進するため下部に共同事業体を組織し MFJ 事業の告知に協力する。
- 名称：MFJマーケティング
- 構成：モーターマガジン社、クレタ、オフィスとらくしよん、三栄書房、バイクプロス、造形社、エアタイム、自然山通信、共同印刷

## 9. 組織

### 1) 地域組織

- (1) 加盟団体の業務委託形態と内容について日本二普協と協議。
- (2) 全日本選手権等主要イベントの集客向上
- (3) MFJ ネットワークショップ加入促進活動。
- (4) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的開催する。

### 2) 中央組織

- (1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

## 10. 会員登録・公認事業

### 1) 会員登録事業

- ・ 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB申請・郵送申請）
- ・ 特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

### 2) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

### 3) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認。必要に応じて査察を実施する。

## 11. サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・ 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認マークを販売する。
- ・ 規定に基づき、参加者の昇格申請、希望競技番号を管理する。

## 12. その他事業

### (1) 諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・ 理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）加盟団体会議（12月）
- ・ 中央スポーツ委員会・専門委員会・技術委員会・各種部会



(2) スポーツ安全保険

- ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

(3) 競技会管理システムの開発・運用

- ・主催者/MFJ間の競技会申請／報告書類を電子化するシステムの運営。

(4) 公益目的支出計画の延長

- 計画の7年間で完了しないことから当期に延長手続きを申請する。

(5) MFJモーターサイクルスポーツ殿堂の設立

- 日本のモーターサイクルスポーツの歴史を後世に伝える目的でモーターサイクルスポーツの殿堂を設立し、過去の記録・映像等の収集、功績のあるライダー・関係者の顕彰を行う。11月MFJGPロードレース（50回記念大会）時に発足式を行う。

以上